

## 日本天文学会 1990 年度春季年会記事

1990年度春季年会は、5月8日(火, 13時)から11日(金)の4日間に亘って京都市の京大会館で開催された。

講演数は口頭によるもの287, ポスターによるもの28で, Post-deadline papers は4件採用されポスター発表を行った。年会参加者は講演数と共に年々増加しているが, 今回は478名となった。京大会館は3年前にも使用させていただいている馴染みの場所であることもあり, 手馴れた関西支部のスタッフによる態勢が万全であったこともあって, 参加者は混乱もなく講演2会場を往き来していた。

口頭による研究発表の座長は次の方々をお願いした。

## A会場(1階講演室)

- |       |    |                 |
|-------|----|-----------------|
| 5月8日  | 午後 | 牧田 貢 (A 1~14)   |
|       |    | 桜井 隆 (A 15~28)  |
| 5月9日  | 午前 | 中野武宣 (A 29~37)  |
|       |    | 舞原俊憲 (A 38~45)  |
|       | 午後 | 佐藤文男 (A 46~59)  |
|       |    | 加藤正二 (A 60~73)  |
| 5月10日 | 午前 | 辻 隆 (A 74~82)   |
|       |    | 前原英夫 (A 83~90)  |
|       | 午後 | 野本憲一 (A 91~99)  |
|       |    | 松田卓也 (A100~107) |
| 5月11日 | 午前 | 伊藤直紀 (A108~124) |
|       | 午後 | 柴崎徳明 (A125~135) |
|       |    | 高原文郎 (A136~145) |

## B会場(2階大会議室 201・210)

- |       |    |                 |
|-------|----|-----------------|
| 5月8日  | 午後 | 藤本光昭 (B 1~14)   |
|       |    | 佐藤勝彦 (B 15~27)  |
| 5月9日  | 午前 | 祖父江義明 (B 28~36) |
|       |    | 岡村定矩 (B 37~44)  |
|       | 午後 | 小山勝二 (B 45~58)  |
|       |    | 家 正則 (B 59~71)  |
| 5月10日 | 午前 | 内田 豊 (B 72~79)  |
|       |    | 土佐 誠 (B 80~87)  |
|       | 午後 | 観山正見 (B 88~94)  |
|       |    | 向井 正 (B 95~103) |
| 5月11日 | 午前 | 小平桂一 (B104~120) |
|       | 午後 | 福井康雄 (B121~130) |
|       |    | 海部宣男 (B131~142) |

第3日目(5月10日)午後には, ビデオを使つての講演があったが, 今後この種の発表が多くなると思われる。講演時間・所要経費等も含めて今後の検討課題であろう。

初日の年会講演に先立ち, 5月8日午前10時より約2

時間に亘り, 今回の発表講演中より選んだ3つのハイライト講演の内容説明を新聞社等の報道機関に対して行った。

- ① B 15: Statistics of Cosmic Mach Number (須藤 靖)
- ② B 134-137: 電波ヘリオグラフ関係
- ③ PDL 1: オースチン彗星(1989c1)の光度解析(香 西洋樹, 中村 士)

10報道機関より13人が参集され, 活発な質疑応答があった。

第1日目(8日)の年会講演に引き続いて開催された公開講演会は, 「ビンボケ電波望遠鏡ガンバル」と題した森本雅樹国立天文台教授の1時間余に亘るお話であった。氏の多少毒気のある洒落れた話術は, 会場(A)を埋めた150名の参加者と共に楽しませた一刻であった。

賛助会員のために設けられた展示コーナーには, 次の各社が参加された。(敬称略)

ニュートリノ, 浜松ホトニクス, 協栄産業, 京都コンピュータ学院, 日本電子計算, ビアス, 松下電器産業, オーム社(以上8社10コーナー)

展示会場が手狭なので, 5コーナーづつ1・2階に分割した形となった。そのため, 講演合間の休憩時間帯では, 人をかき分けて進むようなこともあったが, 盛んな情報交換が行われていた。

年会会期中に, 評議員会, 総会, 理事会が開かれた。また会員による研究グループの10集会が開かれた。

懇親会は同会館のA会場で行うことにしていたが, 参加者200名は収容できそうもないので, 当日午後になって急遽特別室を追加設定し, 例年どおりの盛大な懇親会となった。

## 総 会 議 事

平成2年度通常総会は, 5月10日16時20分~17時45分に京都市京大会館2階会議室(201・210)で開催された。

会員134名が出席した。

議 長: 理 事 長 小暮智一

司会進行: 庶務理事 吉澤正則

総会次第:

1. 天体発見賞贈呈の件
2. 日本天文学会研究奨励賞贈呈の件
3. 平成元年度会務報告
4. 平成元年度会計報告及び監査報告
5. 平成2年度予算
6. 第8期評議員の決定
7. その他

## ◇天体発見賞贈呈の件

評議員会の議決に基づき、以下の2件3氏に天体発見賞・天体発見功労賞を贈呈する件が提案され、満場一致で承認された。

1. 岡崎清美氏 「Okazaki-Levy-Rudenko 彗星」  
天体発見賞
  2. 木内鶴彦氏 「Černis-Kiuchi-Nakamura 彗星」  
天体発見功労賞
- 中村祐二氏 「同上」  
天体発見功労賞

引き続き表彰式が行われ、理事長より表彰状・メダルが手渡された。

## ◇日本天文学会研究奨励賞贈呈の件

評議員会の議決に基づき、下記の研究に今年の研究奨励賞を贈呈する件が提案され、満場一致で承認された。

記

須藤 靖氏

「銀河形成論と宇宙マッハ数テストの提唱」

引き続き表彰式が行われ、理事長より表彰状・メダル及び賞金の目録が手渡された。

## ◇平成元年度会務報告

庶務理事より、平成元年度の会務報告があり原案どうり承認された。(付録1)

## ◇平成元年度会計報告及び監査報告

会計理事より平成元年度会計報告があり、これに関して会計監査より監査の結果正常であった旨の報告があり原案どうり承認された。(付録2)

## ◇平成2年度予算

会計理事より、平成2年度予算についての説明があり原案どうり了承された。(付録3)

## ◇第8期評議員の決定

評議員選挙管理委員会発表の選挙結果に基づく新委員候補者名を庶務理事から提示され原案通り承認された。(天文月報5月号 p. 126 参照)

なお関連して、各候補の得票数について、必要があれば、総会席上口頭で発表を行う旨の再確認がなされた。

## ◇その他

## 1. 定款改訂について

庶務理事より定款改訂作業グループ(定款WG)による検討内容の中間報告があり、さらに定款WGとして検討を重ねる旨の意志表示があった。

## 2. 会費値上げについて

会計理事より、来年度からの会費値上げについての資料説明があり、討議の結果次のようなスケジュールが了承された。「8月理事会で、値上げ幅等の具体案を検討し、本年度秋季年会(仙台)に会費値上げに関する臨時

総会を開催する。」

## 【付録1】平成元年度会務報告

平成元年度は、本会創立82年度、社団法人設立後56年にあたる。

## 本年度に行なった事業

## ア) 出版物の刊行

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)

第41巻第2号 221-344頁 平成元年5月25日

第41巻第3号 345-744頁 平成元年8月25日

第41巻第4号 745-926頁 平成元年10月25日

第41巻第5号 927-1094頁 平成元年12月25日

第41巻第6号 1095-1256頁 平成2年1月25日

第42巻第1号 L1-L10, 1-202頁

平成2年3月25日

General Index (第31巻-第40巻) 156頁

平成2年2月25日

- 2) 天文月報

第82巻4号から第83巻3号まで毎月発行

## イ) 年会の開催

- 1) 春季年会

平成元年5月16~18日

東京大学 山上会館および理学部化学教室

参加者 465名

講演数 295 (ポスター38, ポストデッドライン3を含む)

- 2) 秋季年会

平成元年10月17~19日

宗像市宗像ユリックス

参加者 360名

講演数 282 (ポスター38, ポストデッドライン1を含む)

公開講演会 (宗像ユリックスと共催)

「宇宙創生の謎に挑む——世界最大

7.5m 望遠鏡の観る宇宙」

参加者 約600名

## 総会および評議員会、理事会の開催

## ア) 定期総会

平成元年5月17日 東京大学 山上会館

議長: 高窪啓弥

議題: 1. 天体発見賞贈呈の件

2. 日本天文学会研究奨励賞贈呈の件

3. 昭和63年度会務報告

4. 定款改訂の件

5. 昭和63年度会計報告・会計監査報告

6. 平成元年度予算

7. 次期理事長・副理事長の選出

- 8. 次期理事の指名
- 9. 次期委員の委嘱
- 10. 会計監査委嘱
- 11. 旧理事長挨拶
- 12. 新理事長挨拶

イ) 評議員会

平成元年 4 月 15 日 国立科学博物館 Ⅹ会議室

議長: 古在由秀

- 議題: 1. 総会提出議案について
- 2. その他

平成元年 5 月 16 日 東京大学山上会館 地階会議室

議長: 坂下志郎

- 議題: 1. 総会提出議案確認
- 2. その他

ウ) 理事会

- 平成元年 5 月 18 日 東京大学山上会館 地階会議室
- 平成元年 8 月 25 日 東京大学山上会館 地階会議室
- 平成元年 10 月 19 日 宗像市 宗像ユリニックス会議室
- 平成 2 年 3 月 31 日 東京大学山上会館 地階会議室

その他の主な事項

- ア) 天体発見賞を 2 件 1 氏に, 天体発見功労賞を 1 件 5 氏に授与した. (5 月)
- イ) 第 1 回研究奨励賞 (昭和 63 年度創設) を長谷川哲夫, 吉田春夫の 2 氏に授与した. (5 月)
- ウ) 平成元年度学術交流費によって春季年会 (東京) 39 名, 秋季年会 (宗像市) 58 名, 計 97 名に対して旅費補助を行った. (5 月, 10 月)
- エ) 春季総会での理事長提案に従い, 欧文研究報告編集問題検討 WG が発足した. (6 月)
- オ) 平成元年度科学研究費「研究成果公開促進費」として 436 万円 (PASJ 刊行補助金 358 万円, General Index 刊行補助金 78 万円) の交付が内定した. (6 月, 決定通知 8 月)
- カ) 社団法人日本天文学会の新理事の登記を行ない, 理事変更登記完了届けを文部省に提出した. (6 月)
- キ) 定款の一部変更 (本会所在地の変更) に必要な手続きを行ない, 登記簿の変更が完了した. (7 月)
- ク) 日本天文学会編「新版 星図星表めぐり」を誠文堂新光社より出版した. (9 月)
- ケ) 平成 2 年度文部省科学研究費第 1 段審査委員候補として 4 氏, 第 2 段審査委員候補として 2 氏を日本学術会議に推薦した. (9 月)
- コ) 定款改訂問題について「定款改訂検討作業グループ」(定款 WG) が発足し, 検討を開始した. (10 月)
- サ) 平成元年度内地留学奨学金受給者に宮坂正大, 鈴木文二の 2 氏を決定した. (10 月)

- シ) 年会講演からトピックスを選び, 報道機関に資料を提供した. (10 月)
- ス) 秋季年会の開催に際し, 福岡県並びに宗像市両教育委員会の後援を受けた. (10 月)
- セ) 欧文研究報告第 42 巻 1 号よりレターページを新設し, また同号より TEX による編集を開始することを決めた. (10 月)
- ソ) 日本天文学会編: 天体スライド集「遙かなる宇宙へ」の頒布を開始した. (10 月)
- タ) 国立天文台一般公開の後援を行なった. (11 月)
- チ) 平成 2 年度科学研究費学術定期刊行物補助金 (欧文研究報告刊行補助金) の申請を行なった. (12 月)
- ツ) 欧文研究報告掲載料 (投稿料) を第 42 巻 1 号より改訂することを決めた. (12 月)
- テ) 観測天文学シンポジウム (国立天文台, 日本学術会議天文学研究連絡委員会共同主催) の後援を行なった. (1 月)
- ト) 天文月報の定価 (消費税を含む) を改訂した. (1 月)
- ナ) 欧文研究報告投稿の手引きを発行した. (1 月)
- ニ) 第 8 期評議員の選挙を行ない, 新たに 15 名の評議員候補者を決定した. (2 月)
- ヌ) 東レ科学技術賞を本会推薦の田中靖郎氏が, 東レ科学技術研究助成を本会推薦の長谷川哲夫氏が, それぞれ授賞した. (3 月)
- ネ) 天体発見賞選考委員会から, 1990 年天体発見賞に 1 件 1 名, 天体発見功労賞に 1 件 2 名の推薦があった. (3 月)
- ノ) 「天文用語標準化の調査研究」(科学研究費) 第 3 次資料をまとめた. (3 月)
- ハ) 研究奨励賞のメダルデザインを決めた. (3 月)
- ヒ) 研究奨励賞選考委員会から, 第 2 回研究奨励賞候補として 1 名の推薦があった. (4 月)

会 員 数

	特別 会 員	通常 会 員	賛 助 会 員	合 計
1989/3/31 の会員数	739	1,573	52	2,364
入 会	45	78	3	126
退 会	7	88	3	98
移籍 (増)	26	8	0	34
移籍 (減)	8	26	0	34
1990/3/31 現在	795	1,545	52	2,392

【付録2】 平成元年度 収支計算書

社団法人 日本天文学会

(平成元年4月1日~平成2年3月31日)

【一般会計】

I] 収入の部 (単位:円)

勘定科目	予算額	決算額
大・中・小科目		
基本財産運用収入	236,000	241,000
基本財産利息収入	236,000	241,000
会費収入	16,830,000	16,619,477
特別会費収入	9,080,000	9,070,800
一般会費収入	7,680,000	7,730,800
学生会費収入	1,400,000	1,340,000
通常会費収入	7,750,000	7,548,677
事業収入	16,920,000	17,948,130
欧文研究報告発行事業収入	11,500,000	12,013,880
購読料	5,700,000	4,977,115
掲載料	4,100,000	4,179,675
刷代	1,700,000	2,857,090
天文月報発行事業収入	4,120,000	4,383,777
購読料	960,000	883,622
刷代	360,000	320,020
広告料	2,800,000	3,180,135
年会事業収入	1,300,000	1,550,473
予稿集頒布収入	300,000	288,950
参加費	1,000,000	990,000
雑収入	0	271,523
印税収入	1,800,000	2,169,300
星座早見印税収入	1,000,000	1,698,900
流星図印税収入	800,000	0
星図星表めぐり印税収入	0	470,400
補助金収入	4,150,000	4,360,000
文部省刊行補助金収入	4,150,000	4,360,000
雑収入	1,400,000	9,335,361
受取利息	300,000	326,407
特別企画収入	500,000	7,444,650
その他収入	600,000	1,564,304
当期収入合計 (A)	41,336,000	50,673,268
前期繰越収支差額	6,211,262	6,211,262
収入合計 (B)	47,547,262	56,884,530

II] 支出の部 (単位:円)

勘定科目	予算額	決算額
大・中・小科目		
事業費	34,470,000	36,241,662
欧文研究報告発行事業費	19,260,000	21,557,530
直接出版費	15,400,000	17,523,108
刷印費	1,000,000	1,077,245
人謝金	860,000	1,030,302
送料	600,000	664,430
運搬費	950,000	1,168,025
消耗品	400,000	94,420
雑費	50,000	0
天文月報発行事業費	11,220,000	10,880,146
直接出版費	7,300,000	7,211,392
刷印費	320,000	302,058
人謝金	880,000	952,746
送料	700,000	675,000
運搬費	1,620,000	1,511,035
消耗品	350,000	227,915
雑費	50,000	0
年会事業費	3,990,000	3,803,986
予稿集印刷費	1,850,000	1,958,300
謝金	330,000	353,000
送料	460,000	448,741
運搬費	550,000	607,692

消耗品費	700,000	405,155
雑費	100,000	31,098
管理費	8,290,000	14,581,973
人謝金	3,200,000	3,359,757
件	500,000	226,820
議担	300,000	275,837
費金	80,000	81,000
課税	0	1,057,558
公共交通費	1,100,000	1,098,900
通信費	1,000,000	677,888
備品	100,000	864,000
製本	160,000	159,010
水	720,000	872,834
借	70,000	74,783
手	670,000	705,400
別	70,000	81,371
企	120,000	206,085
画	50,000	4,719,834
費	150,000	120,896
未収会費回収不能	0	90,000
未収会費回収不能	0	90,000
特定預金支出	430,000	426,300
退職給与引当預金支出	130,000	126,300
減価償却引当預金支出	300,000	300,000
予備費	4,357,262	0
予備費	4,357,262	0
当期支出合計 (C)	47,547,262	51,339,935
当期収支差額 (D=A-C)	6,211,262	△ 666,667
次期繰越収支差額 (E=B-C)	0	5,544,595

【特別会計】 (単位:円)

会計種目/勘定科目	予算額	決算額
学術交流費		収入の部
賛助会費収入	2,000,000	2,040,000
受取利息	15,000	15,000
前期繰越収支差額	734,800	734,800
収入合計	2,749,800	2,789,800
		支出の部
学術交流費	2,000,000	2,306,800
予備費	9,800	5,562
支出合計	2,009,800	2,312,362
次期繰越収支差額	740,000	477,438
正味財産	0	477,438

内地留学奨学金	収入の部
基本財産利息収入	203,000
前期繰越収支差額	87,321
収入合計	290,321
	支出の部
奨学金支出	240,000
予備費	7,321
支出合計	247,321
次期繰越収支差額	43,000
正味財産	0

研究奨励賞	収入の部
奨励賞資金収入	353,290
受取利息	1,500
前期繰越収支差額	0
収入合計	354,790
	支出の部
奨励賞支出	200,000
予備費	4,790
支出合計	204,790
次期繰越収支差額	150,000
正味財産	0

平成元年度 一般会計正味財産増減計算書 社団法人 日本天文学会  
(平成元年4月1日~平成2年3月31日)

(単位:円)

勘定科目	決算額
大・中科目	
増加の部	
資産増加額	
退職引当預金増加額	143,429
減価償却引当預金増加額	326,319
什器備品増加額	780,200
増加額合計(F)	1,249,948

減少の部	
資産減少額	
当期収支差額	203,950
貯蔵品減少額	259,380
減価償却預金取崩	852,196
什器備品償却額	666,667
負債増加額	
退職給与引当金繰入額	143,429
減少額合計(G)	2,125,622
当期正味財産減少額(H=G-F)	875,674
前期正味財産額(I)	14,717,831
期末正味財産合計(J=I-H)	13,842,157

貸借対照表 社団法人 日本天文学会

(平成2年3月31日)

【一般会計】

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
勘定科目	金額		勘定科目	金額	
大科目	中科目		大科目	中科目	
流動資産			流動負債		
	現金預金	3,062,501		未払金	1,070,067
	未収会費	808,440		前受金	149,220
	未収金	3,384,439		預り金	584,248
	前払金	201,100		前受会費	708,350
	有価証券	600,000		流動負債合計	2,511,885
流動資産合計		8,056,480	固定負債	退職給与引当金	488,823
固定資産	投資有価証券	5,000,000	負債合計		3,000,708
その他の固定資産	什器備品	1,670,763	正味財産		
	貯蔵品	1,537,662		(うち, 基本金)	13,842,157
	退職給与引当預金	488,823		(うち, 当期正味財産減少額)	(5,000,000)
	減価償却引当預金	89,137			( 875,674)
固定資産合計		8,786,385	正味財産合計		13,842,157
資産合計		16,842,865	負債及び正味財産合計		16,842,865

【特別会計】

(単位:円)

学術交流費					
流動資産	現金預金	金額	正味財産	次期繰越収支差額	金額
		477,438		(うち当期増加額)	477,438
					(257,362)
資産合計		477,438	正味財産合計		477,438
			負債及び正味財産合計		477,438
内地留学奨学金					
流動資産	現金預金	金額	正味財産	基本金	金額
		53,659		次期繰越収支差額	4,310,000
流動資産合計		53,659		(うち当期減少額)	53,659
その他の固定資産	投資有価証券	4,310,000			(33,662)
その他の固定資産合計		4,310,000	正味財産合計		4,363,659
資産合計		4,363,659	負債及び正味財産合計		4,363,659
研究奨励賞					
流動資産	現金預金	金額	正味財産	次期繰越収支差額	金額
		253,860			253,860
資産合計		253,860	正味財産合計		253,860
			負債及び正味財産合計		253,860

(注) 基本財産(基本金)たる資産: 投資有価証券 9,310,000 円, 預り金のうち消費税 549,188 円

監査の結果, 収支計算書及び貸借対照表の正しいことを証明します。

平成2年4月10日

会計監査 堀 源 一 郎 ㊞  
成 相 恭 二 ㊞

【付録3】 平成2年度 収支予算書

社団法人 日本天文学会

(平成2年4月1日~平成3年3月31日)

【一般会計】

I) 収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
大・中・小科目		
基本財産運用収入	241,000	236,000
基本財産利息収入	241,000	236,000
会費収入	16,800,000	16,830,000
特別会員会費収入	9,300,000	9,080,000
一般会費収入	7,800,000	7,680,000
学生会費収入	1,500,000	1,400,000
通常会員会費収入	7,500,000	7,750,000
事業収入	15,970,000	16,920,000
欧文研究報告発行事業収入	10,250,000	11,500,000
購読料	5,100,000	5,700,000
掲載料	3,000,000	4,100,000
別刷代	2,150,000	1,700,000
天文月報発行事業収入	4,570,000	4,120,000
購読料	810,000	960,000
別刷代	360,000	360,000
広告料	3,400,000	2,800,000
年会事業収入	1,150,000	1,300,000
予稿集頒布収入	250,000	300,000
参加費	900,000	1,000,000
雑収入	0	0
印税収入	1,800,000	1,800,000
星座早見印税収入	1,600,000	1,000,000
星図星表めぐり印税収入	200,000	800,000
補助金収入	3,800,000	4,150,000
文部省刊行補助金収入	3,800,000	4,150,000
雑収入	9,340,000	1,400,000
受取利息	40,000	300,000
特別企画収入	8,800,000	500,000
その他の収入	500,000	600,000
当期収入合計 (A)	47,951,000	41,336,000
前期繰越収支差額	5,544,595	6,211,262
収入合計 (B)	53,495,595	47,547,262

収支予算書のうち課税項目の消費税額は、預り金として年度末決算の貸借対照表に明示するものとする。

II) 支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
大・中・小科目		
事業費	31,720,000	34,470,000
欧文研究報告発行事業費	14,920,000	19,260,000
直接出版費	11,000,000	15,400,000
別刷印刷費	1,000,000	1,000,000
人件費	970,000	860,000
謝金	700,000	600,000
送料運搬費	1,100,000	950,000
消耗品費	100,000	400,000
雑費	50,000	50,000
天文月報発行事業費	12,300,000	11,220,000
直接出版費	8,200,000	7,300,000
別刷印刷費	400,000	320,000
人件費	950,000	880,000
謝金	800,000	700,000
送料運搬費	1,600,000	1,620,000
消耗品費	300,000	350,000
雑費	50,000	50,000

年会事業費	4,500,000	3,990,000
予稿集印刷費	2,200,000	1,850,000
謝金	450,000	330,000
送料運搬費	450,000	460,000
会場費	800,000	550,000
消耗品費	500,000	700,000
雑費	100,000	100,000
管理費	17,255,000	8,290,000
人件費	3,500,000	3,200,000
謝金	350,000	500,000
会議費	300,000	300,000
負担金	80,000	80,000
租税課金	1,100,000	0
旅費交通費	1,000,000	1,100,000
送料通信費	800,000	1,000,000
什器備品費	100,000	100,000
印刷製本費	1,000,000	160,000
消耗品費	900,000	720,000
光熱水料費	75,000	70,000
賃借料	900,000	670,000
保険料	80,000	70,000
諸手数料	220,000	120,000
特別企画費	6,700,000	50,000
雑費	150,000	150,000
特定預金支出	435,000	430,000
退職給与引当預金支出	135,000	130,000
減価償却引当預金支出	300,000	300,000
予備費	4,085,595	4,357,262
予備費	4,085,595	4,357,262
当期支出合計 (C)	53,495,595	47,547,262
当期収支差額 (A)-(C)	Δ5,544,595	Δ6,211,262
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	0

【特別会計】

(単位:円)

会計種目/科目	予算額	前年度 予算額
学術交流費		
収入の部		
賛助会員会費収入	2,100,000	2,000,000
受取利息	15,000	15,000
前期繰越収支差額	477,438	734,800
収入合計	2,592,438	2,749,800
支出の部		
学術交流費	2,060,000	2,000,000
予備費	12,438	9,800
支出合計	2,072,438	2,009,800
次期繰越収支差額	520,000	740,000
内地留学奨学金		
収入の部		
基本財産利息収入	208,000	203,000
前期繰越収支差額	53,659	87,321
収入合計	261,659	290,321
支出の部		
奨学金支出	240,000	240,000
予備費	21,659	7,321
支出合計	261,659	247,321
次期繰越収支差額	0	43,000
研究奨励賞		
収入の部		
資金収入	100,000	353,290
受取利息	5,000	1,500
前期繰越収支差額	253,860	0
収入合計	358,860	354,790
支出の部		
研究奨励賞支出	100,000	200,000
予備費	2,980	4,790
支出合計	102,980	204,790
次期繰越収支差額	255,880	150,000